

AVN-LBS01

取付説明書

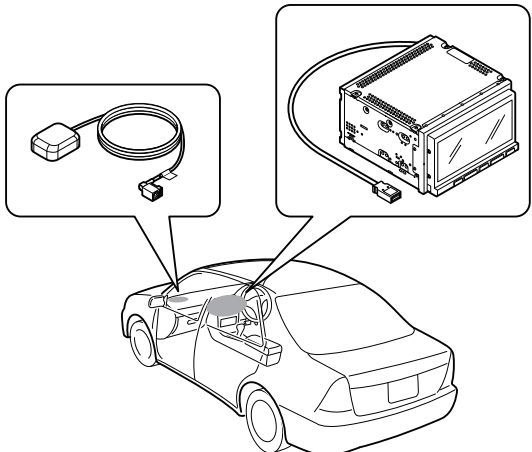
お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続をおこなう前に、必ず本書をよくお読みのうえ、正しく作業をおこなってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる恐れがあります。
- 安全運転のため、ご使用の前に「取扱説明書」、「取付説明書(本書)」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書(本書)」に記載されている内容を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書(本書)」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本機は日本国内専用モデルです。日本国外で使用することはできません。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

一販売店様へー

取り付け、接続作業が完了しましたら、本書をお客様へお渡ください。

取付概要図



●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なることを下記の表示で記載しています。

📖 アドバイス

知っておくと便利なること、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠ 警告

- ① 本機は DC12V ♂ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様車のディーゼル車等の 24V 車での使用はしないでください。
- ① 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

- ② 本機を次のような場所には取り付けしないでください。振動が強い場所、火災の原因となる可能性があります。本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等運転に支障をきたす場所、向乗者に危害を及ぼす場所等に絶対に取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

- ⚠ 車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行ってください。火災の原因となります。

- ① ドリル等で穴あけ作業をする場合は、コーゲル等の目を保護するものを使用してください。
- ① 破片等が目に入ったときや失明の原因となります。

- ② 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。保安部品を使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。

- ② 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ① ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。

- ② 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- ② 画面が出ない、音が出ない等の故障状態で使用しないでください。

- ① 万一、異音が入った、水がふかった、煙りが出る、変な匂いが出る等の異常が起る場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。
- ② そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

- ② エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてしないでください。
- ② 車両メーカーによる作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

- ② エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け、配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の原因、エアバッグシステムが正常に動作しないため、ケガの原因となります。
- ② 電源コードの被覆を切つて、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。

- ② 電源コードの電圧容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ② 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で被覆してください。

- ② ショートにより火災、感電の原因となります。
- ① コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておくてください。

- ② ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつく事故の原因となり危険です。
- ① 必ず付属の部品を指定通り使用してください。

- ② 指定以外の部品を使用すると、機体内部の部品が損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。

●構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係

①メインユニット ×1	②電源コード ×1	③中継コード ×1
④車両信号コード ×1	⑤AUXコード ×1	⑥バックカメラコード ×1
⑦ハンズフリーマイク ×1	⑧地図専用microSDカード ×1	⑨取り付けねじ (M5×6) ×8
⑩ショートコネクタ ×6		

●アンテナ関係

⑪GPSアンテナ ×1	⑫金属シート ×1
----------------	--------------

地図専用microSDカードは、メインユニットにあらかじめ挿入されています。

その他の構成部品(取扱説明書、取付説明書、保証書等の資料類)

●作業の進め方

- 1) 構成部品を確認する (☞ 構成部品)
- 2) バッテリーの⓪端子を外す (☞ 接続のしかた) (☞ システム接続例)
- 3) 接続を確認する (☞ GPS アンテナの取り付け上のご注意) (☞ GPS アンテナの取り付け)
- 4) GPS アンテナを取り付ける (☞ ハンズフリーマイクの貼り付け (例)) (☞ メインユニットの取り付け) (☞ 取り付け後の設定／作動確認)

●GPSアンテナの取り付け上のご注意

GPS アンテナの取り付け上のご注意を表記しています。必ずよく読んでから作業をおこなってください。

⚠ 注意

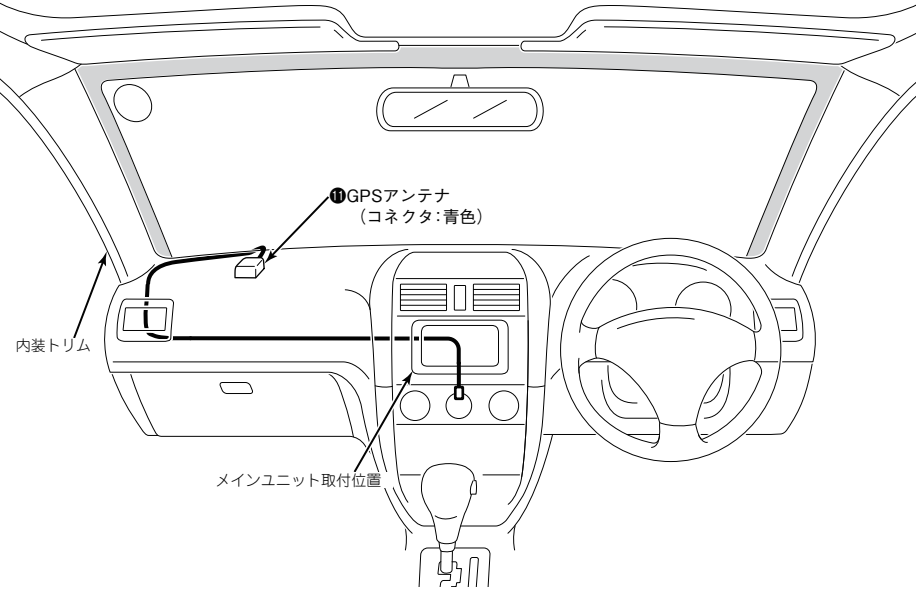
- GPS アンテナは車室内専用です。法規制に抵触するため車室外への取り付けはしないでください。
- GPS アンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となる場合があります。
- GPS アンテナに付いている磁石は大変強力です。アンテナを取り付けるときは以下の点に注意してください。磁石が金属部品に近づかないでください。時計や磁気カードが故障したり使用できなくなる恐れがあります。
- *時計や磁気カード等に近づけないでください。時計や磁気カードが故障したり使用できなくなる恐れがあります。
- 本書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けしてください。

📖 アドバイス

- GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる恐れがあります。
- GPS アンテナコードは、ラジオアンテナやラジオアンテナコードから、できるだけ離して取り付けてください。GPS アンテナコードがラジオ放送の音声を妨害する恐れがあります。
- GPS アンテナの貼付位置・貼付位置表面の汚れ、水分、油分などを十分ふき取ってから取り付けてください。
- GPS アンテナを貼り付ける際、気温が低い (20℃以下) とときやガラスが曇ってしまうときは、粘着面の粘着力が低下します。車内ヒーターやテフローステップスイッチを ON にしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。
- 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。

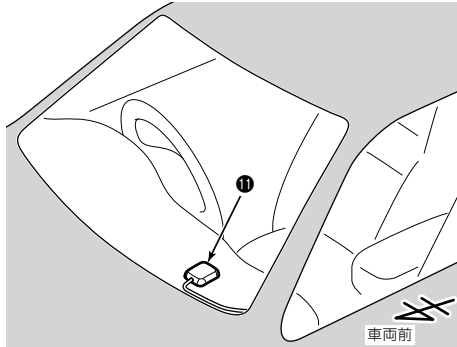
GPSアンテナ・フィルムアンテナ取付概要図

- コードは、車両部品や可動部にかみ込んだり断線したりしないように配線してください。
- 配線時、内装トリムを取り外します。取り外し作業が困難な場合は、車両のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください (作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります)。



●GPSアンテナの取り付け

1 ⑪ GPS アンテナの貼付位置を決める

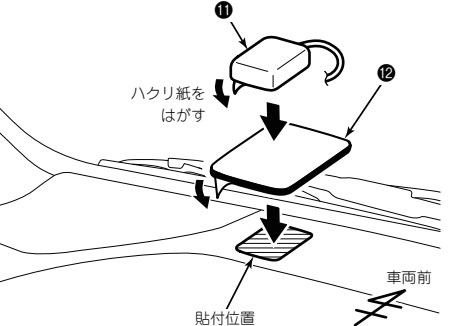


- ① ⑪GPSアンテナがしっかりと固定できる場所を選び、貼付位置を決める。

📖 アドバイス

- GPS アンテナは、電波の通らぬにくい、平らな場所に貼り付けてください。推奨する貼付位置はダッシュボードの左側です。

2 ⑪ GPS アンテナと⑫金属シートを貼り付ける



- ① ⑫金属シートのハクリ紙をはがす。
- ② ダッシュボードに⑫金属シートを貼り付ける。
- ③ ⑪GPSアンテナのハクリ紙をはがす。
- ④ ⑫金属シートに⑪GPSアンテナを貼り付ける。

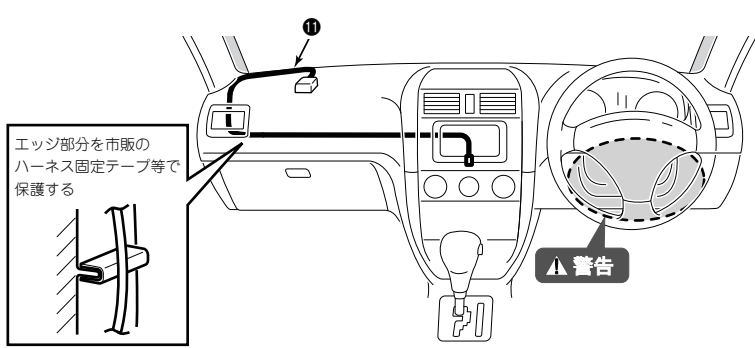
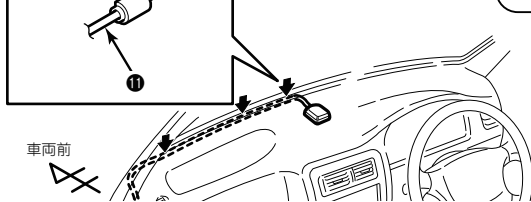
📖 アドバイス

- ⑪ GPS アンテナを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。

3 ① GPS アンテナコードを配線する

📖 アドバイス

- ① GPS アンテナコードは、ダッシュボード奥にコードを押し込みながら配線してください。



- ① ①GPSアンテナコードを市販のハーネス固定テープ等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

⚠ 警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、市販のハーネス固定テープでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

⚠ 注意

- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分に市販のハーネス固定テープを貼り付けてください。
- 内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。コードがかみ込んでしまう場合は、内装トリムに切り欠き等を入れてください。
- あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。
- コードは、市販のハーネス固定テープやバンドクランプ等の固定部材を使用して確実に固定してください。

この資料は、法人向けの資料です。
裏面に記載の内容もよく読み、切り取って大切に保管してください。

●ナビゲーション取り付け時の店舗情報の登録

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する

- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 「SuperApp」画面を表示させる



5秒間で10回押す

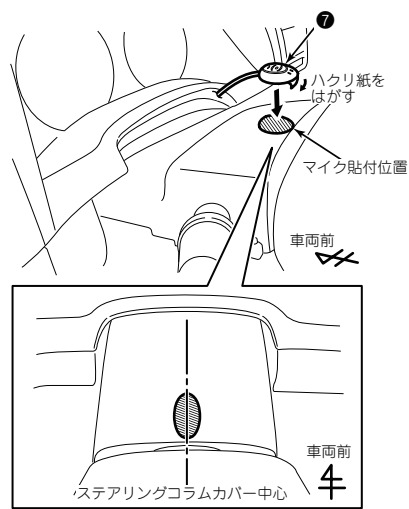
3 店舗情報および返却場所を登録する



※ 詳しい操作方法については、「取扱説明書 (ナビゲーション)」 (→ P.46) を参照ください。

● ハンズフリーマイクの貼り付け(例)

1 ⑦ハンズフリーマイクを貼り付ける



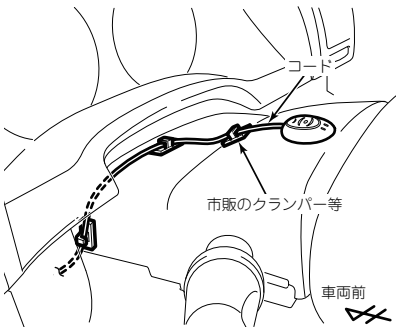
① ⑦ハンズフリーマイクのハクリ紙をはがす。

② ステアリングコラムカバーの中心に
●ハンズフリーマイクを貼り付ける。

⑦ アドバイス

- ⑦ハンズフリーマイクを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ⑦ハンズフリーマイクは、チャルト・テレスコピック時に車両部品と接触しない位置に貼り付けてください。

2 コードを配線する



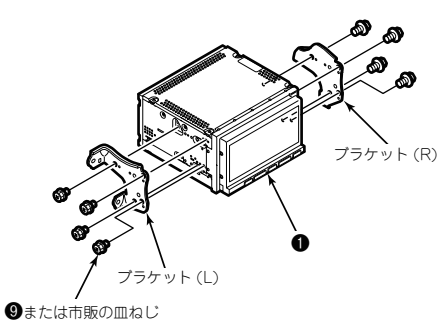
① ⑦ハンズフリーマイクのコードを市販のクランパー等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

⚠ 警告

- コードは、運転操作の妨げとならないよう、市販のクランパー等で固定してください。ステアリングやシフトレバー等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

● メインユニットの取り付け

1 車両のオーディオ、小物入れを取り外す



①または市販の皿ねじ

⑦ アドバイス

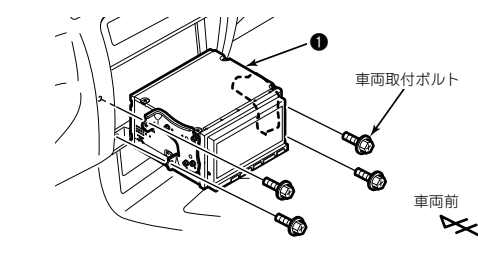
- 車両メーカーに応じてブラケット取付穴を選んでください。車種別の情報はイクリプス web サイト(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/justfiguide/)をご確認ください。

- 必ず付属のねじを使用してください。

取付ねじは、必ず指定のねじ(M5×6)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。皿ねじが必要な場合は、市販されている皿ねじ(M5×6)を準備して使用してください。



2 ①メインユニットを車両に取り付ける



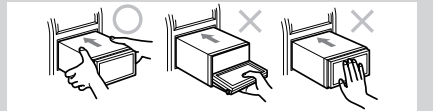
① ①メインユニットに各コードを接続する。

② ①メインユニットを車両に取り付ける。

⑦ お願い

- 取付角度が大きな取付状態となる場合は、自車位置スレやディスクの出し入れ等が正常にできない場合がありますので、できるだけ水平に対して、35°以内の角度で取り付けてください。
- ディスプレイを手で押さないでください。

車両に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ(表示部)やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ(表示部)やボタンが破損する恐れがあります。

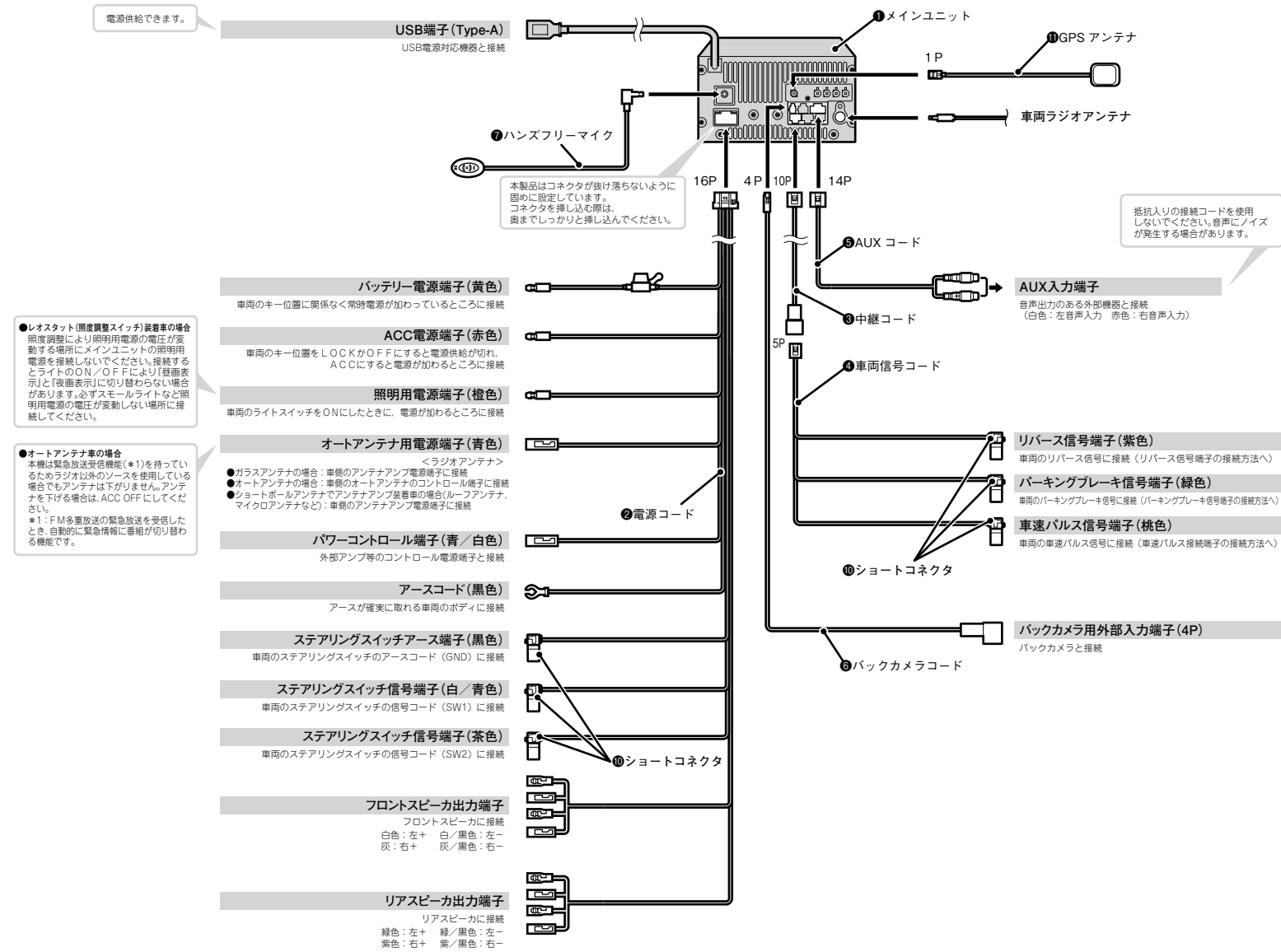


- センターコンソールの形状によっては、シフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- メインユニットの取り付けが終わるまでパネルの保護シートは外さないでください。パネルの保護シートを外した状態でメインユニットの取り付けを行うと、ディスプレイに傷が付く恐れがあります。

また、操作時は必ず保護シートを外してください。外さないで使用するとタッチパネルが正しく動作しないことがあります。



● 接続のしかた



- 車両信号の取り出しには必ず付属のショートコネクタを使用してください。指定外のショートコネクタを使用すると接続不良の原因になります。
- 接続しない端子等は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災、感電の原因になります。
- 接続コードを本体に接続する前にアースコードを車両側に必ず接続してください。スピーカー端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。
- スピーカ出力端子と電源/アース端子を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- アンテナコードは、本製品に同梱のものを使用してください。
- 同梱品以外のものを使用すると、受信性能が低下する場合があります。

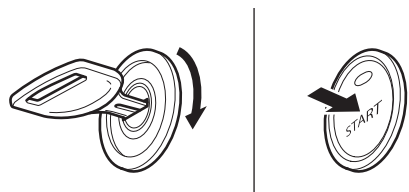
- 車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプス web サイト内の「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/)をご確認ください。
- 車両信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
- アンテナコードは、本製品に同梱のものを使用してください。
- 「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/)をご確認ください。

⑦ アドバイス

● お客様からの車両返却後の対応について

お客様から車両が返却された際、本機を初期化する必要があります。下記手順に従って、初期化を行ってください。

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する



- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 「SuperApp」画面を表示させる

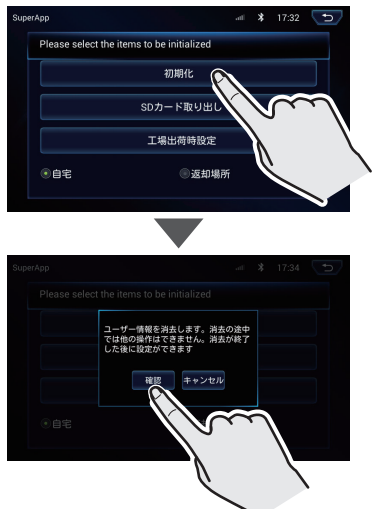


操作手順

MENU × 10 回押す ➡

「SuperApp」画面を表示

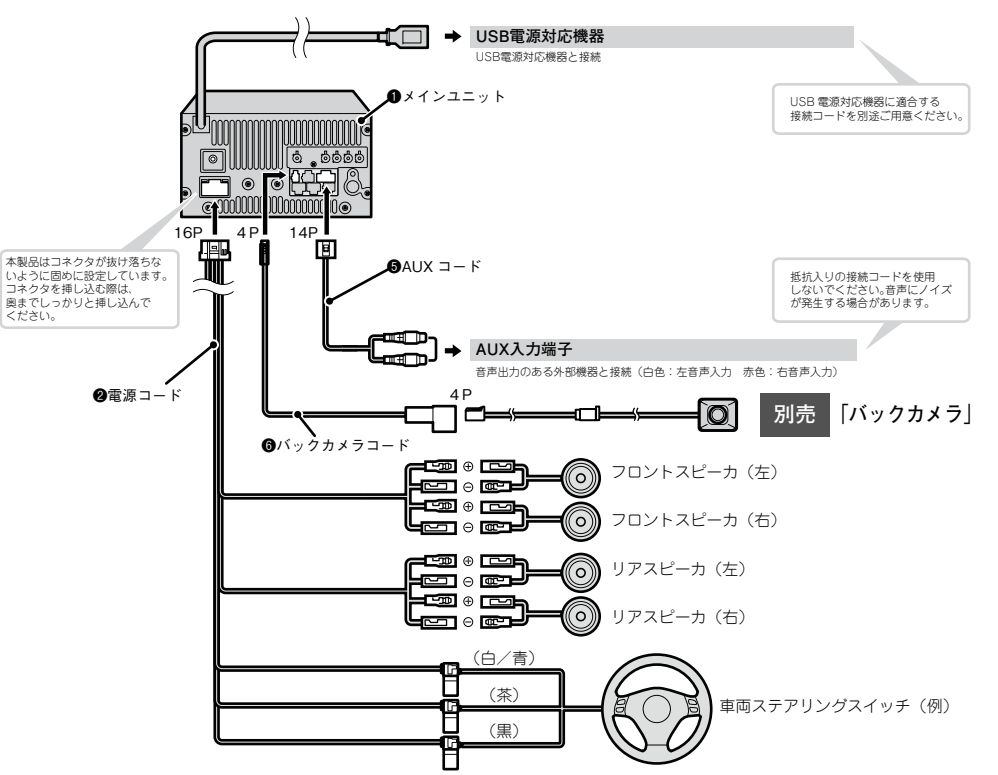
3 初期化を行う



操作手順

初期化 ➡ 確認 ➡ 再起動後、初期化完了

● システム接続例



● 取り付け後の設定／作動確認

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する

- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 初期設定をする

- お願い
● 本体や周辺機器の取扱説明書を参照し、初期設定を行ってください。

3 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

① パーキングブレーキがかかっている事を確認してから、車体前面「現在地」ボタンを押す。

② [メニュー] をタッチする。

③ [ナビ情報] をタッチする。

④ [ナビ] をタッチする。

⑤ [GPSセンサー情報] をタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

⑦ お願い

- GPS 受信感度
しばらく経っても GPS 測位の表示が「未測位」から変わらないときは、GPS アンテナの接続状態を確認してください。
- 車速パルス
GPS・センサー情報画面で走行すると車速パルス信号の状態を確認することができます。走行中、パルス回数表示が「0 回」から変わらないときは、車速パルス信号の接続状態を確認してください。
- パーキング信号
パーキングブレーキがかかっている場合、表示が「ON」に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が「OFF」に変わります。表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。
- リバース信号
バックギヤ以外にシフトしている場合、表示が「OFF」に、バックギヤにシフトしている場合、表示が「ON」に変わります。表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。